

赤坂台校区福祉協議会報

第120号

発行：堺市赤坂台校区福祉協議会
〒590-0144 堺市南区赤坂台2丁5-15
(地域会館内)



年4回発行 校区内全戸配布

新年互礼会開催される

赤坂台校区福祉協議会で
は、令和8年1月25日に新年互礼会を赤坂台地域会館で開催致しました。

当日は、校区内の各種団体の代表など45名の参加があり、今年度実施してきた活動や、今後の抱負などについての発言があり、その後の懇親会では、普段会うことの少ない会員さんとも言葉を交わし、親交を深めることができました。

「歳末助け合い運動」の報告とお礼

昨年12月に取り組まれた歳末助け合い運動では、自治会・団体・個人の皆様より合計340,800円のご寄付をいただき、高齢者・児童等の福祉関係に、321,200円を配分し、19,600円を堺地区募金会に寄託致しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

民生委員・児童委員会からのお知らせ

昨年12月に3年に一度の改選が行われました。この度は退任者が3名、新任者が3名となっています。特に12年間に亘り卓越した分析力と福祉へ熱意で赤坂台に貢献されてきたた四谷前委員長は地域から惜しまれながらのご退任となりました。今までの活躍に感謝いたします。高野幸子さん山川智恵子さんも同じく退任されました。

大変お疲れさまでした。代わって今回新たに山内清美さん、山本良子さん、川口真利子さんの新任者が加わり再任者と合わせて13名の新しいメンバーで活動を始めています。

各担当地区につきましても変更が御座いましたので一覽表に示しました。どうぞご参照ください。私どもは、地域のお世話役としてみなさまのお困り事や問題に寄り添い、必要に応じて各関係機関へのつなぎ、紹介などを行います。お気軽に相談なさってください。



民生委員長
泊 晋吾

赤坂台校区民生委員・児童委員担当区域別名簿

役職	氏名	担当地域	委員の住所	電話番号	
委員長	泊 晋吾	3丁1番~8番、9番(1~6棟) 29~36棟、3丁10番			
		4丁26番~32番			
		5丁33番~41番			
副委員長	志摩 拓郎	2丁全域			
会計	木谷 恵美	1丁1番~31番			
		齊藤 美子	6丁14番~15番		
	佐藤 美香	1丁32番~60番			
	福永 隆子	3丁9番9~19棟(12~14棟・18棟は除く)			
		密野 里美	楠尾3065番~9006番		
	宮原 憲吾	3丁9番8棟、20~27棟			
	椋田 真須美	6丁全域(14~15番は除く)			
	新任	川口 真利子	4丁1番~25番		
	新任	山内 清美	3丁9番12棟・13棟・18棟		
	新任	山本 良子	5丁1番~32番		
主任児童委員	佐藤 有子	赤坂台校区			

【行事予告】

春の園遊会(お茶会)

4月4日(土) 10時から

場所：地域会館 参加費無料

令和8年度総会

5月24日(日) 9時半から

場所：地域会館

赤小ポランティオクラブ

恒例の年賀状

今年も赤坂台小学校ポランティオクラブの部員たちが、地域の高齢者に年賀状を書いてくれました。カラフルで愛らしいイラストに交え「インフルエンザがはやってるので気をつけてください」「たくさん食べて元気にすごしてください」「長生きしてください」など、ほっこりするメッセージも書き添えてくれました。



受け取った皆さんの笑顔が目に浮かびます

二十歳を祝う会

1月12日に「二十歳を祝う会」を赤坂台中学校体育館で行いました。例年通り赤坂台校区と新檜尾台校区の青少年指導員会が主催し

て、両連合自治会・赤坂台中学校区健全育成協議会協賛での開催となっております。



泉ヶ丘のビッグアイで午前十時より行われた南区主催の「二十歳の集い」に参加したピカピカの若者たちが赤坂台中学校体育館にやって来ました。彼らの小学校・中学校当時の恩師も駆け付けて頂き、総勢約百二十名の人・人で賑わいました。地域より連合自治会会長・赤坂台中学校校長も来賓として参加賜り彼達の門出を祝って頂きました。

若者代表のスピーチ・恩師からの激励・友人との再会・ビンゴゲーム・などなど楽しい時間を過ごした様子。約三時間はあっという間に

過ぎ閉会となりました。開催にあたりまして協力頂きました各団体・ポランティオの方々・地域の皆様へ感謝申し上げます。
青少年指導員会校区幹事 泊晋吾

施設紹介

特別養護老人ホーム 故郷の家

「在日コリアンと日本人の共生」

多文化福祉の実践現場へ本法人は、国境、民族、文化を超えて高齢者、児童、障害者と共に生きる社会づくりをめざします。

「故郷の家」は1989年11月堺市南区檜尾に日本で初めて在日コリアンのために建てられ今年37年を迎え、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルパー、ケアプランセンターを運営しています。現在は、在日コリアンと日本人の高齢者が共に暮らし、そのために故郷の家では日本語と韓国語、梅干しとキムチ、畳とオンドル、演歌とアリランが共存しています。施設ではご利用者と職員、ご利用者のご家族と地域住

民の皆様と共生の中で両国の文化を楽しみながら、(体験、理解、認め合う)交流ができる場として「コリア・シヤパンデイ」から「多文化フエスティバル」の文化祭やお正月と旧正月(ソルナル)夏祭り(チユソク)旧暦8月15日(等日・韓の多彩なプログラムを展開していきますので気軽においでください。大歓迎します。



施設ではこのように地域の住民と交流ができる場としてご利用者様が、より楽しく生活できるように施設内で活動して下さるボランティアを募集しています。

ご経験のある方、未経験のどなたでも1日からでも構いません。ご利用者の「笑顔」に出会える貴重な時間になるはず。ぜひポランティオ活動に参加して下さい。『福祉は文化』です。活動内容(散歩、買い物付

き添い、喫茶対応、書道、美術活動、歌や踊り、楽器演奏、囲碁、カラオケ、折り紙、園芸、ネイルアート、美容メイクなど・・・施設等の情報は社会福祉法人こころの家族のホームページをご覧ください。
<http://www.kokoron.or.jp>

ほのほの 節分お食事会

施設長 朴正米

1月31日(土)節分昼食会を開催 寒さの中24人の参加者がありました。2色(赤・青)の折り紙で折った鬼にそれぞれ顔を書いて、個性豊かな鬼の出来上がり、ほのほの会員による紙芝居、手話で「春が来た」を合唱しました。

最後に参加者の皆様に沢山の「美味しかった」を頂きました。お手伝い下さったボランティアの皆様(17名有難うございました(和田)



包括からの介護情報① 終活シリーズ オンライン講座を開催します
泌尿器科医と理学療法士 が伝える!!

トイレが近いことと向き合って、快適に暮らすためのお話
頻尿にまつわる病気と健康について +

理学療法士によるフレイル対策

日時:令和8年3月18日(水) 14:00~15:30

講師:もいもと泌尿器科クリニック 院長 森本 康裕 先生

アール訪問看護ステーションさかい 理学療法士 さん

参加費:無料 申込み:不要

ZOOM ミーティングID:848 3017 7075

パスコード:847331 (定員 100名)

※オンライン環境のない方は、当日、南区役所内下記会場でもご参加いただけます。

南区役所2階 COCOフラザ (定員 20名 先着順)

終活に備えていろいろな知識を得て皆さまと一緒に学びたいと思い、定期的に専門の先生による講座を企画しています。今回の講座は、トイレが近いことと向き合って、快適に暮らすためのヒントとフレイル対策をテーマにした内容です。頻尿にまつわる病気や健康、フレイル予防について、専門の先生方よりお話いただけます。

初めてのご参加でも大丈夫です。ご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

講座に関することやZOOMに関すること等、何かあればご相談下さい。

南第1地域包括支援センター 徳永・佐藤 まで ☎072-295-1555

『 明るい 終活フェア 』 **参加費無料**

主催: 南区権利擁護部会 共催: 大阪経済大学

日時: 令和8年3月24日(火) 13:00~

場所: 南区役所 2階 会議室

<相談コーナー> 成年後見、財産、生前整理、デジタル活用、介護相談など

<体験コーナー> 入棺体験やちょこっとネイルなど

いずれも、申込不要です。お気軽にご参加ください!

問い合わせ: 南基幹型包括支援センター ☎072-290-1866



4月4日(土)5日(日)10時~17時に赤坂台校区において開催されます。個人邸では丹精込めて育てた庭を鑑賞することが出来ます。又、連合自治会花クラブ、ボランティアあじさいも参加し、地域の美化活動、交流の場となっています。鑑賞するにあたりマナーを守りながら、季節の花々や木々あふれる街歩きを楽しみませんか。詳細のパンフレットは地域会館にあります。

オープンガーデンあかさか開催

赤坂台子どもひろば

赤坂台子どもひろばは、堺市の地域子育て支援拠点事業として、乳児から就学前のお子さんと保護者、これからのママさんになる人が、無料でゆっくりとくつろいで

でもらえる居場所です。2019年4月に今の場所に移転し、7年が経ちました。これからも、子どもたちの笑顔があふれる赤坂台をめざして、子育ての不安や

負担を和らげるお手伝いをしたいと思っています。楽しいイベントや子育てに役立つ講座も行なっています。お気軽に遊びに来てください。

開設時間: 月~金曜日 10時~12時・14時~17時
土曜日(月1不定期) 10時~12時
赤坂台子どもひろば 所長 吉田正美



赤坂台

SINCE 1975

連合自治会

ニュース

赤坂台で最近こんな話をよく耳にする。実家が赤坂台で、ほかの街で暮らしていた息子さん家族が、赤坂台に住むために帰ってきている。また「赤坂台ふるさと祭り」の来場者がここ3年、3000人を超え増え続けてきている。50年の歳月を経て、赤坂台には帰りたいくなる「故郷意識」が根づいてきているのではないか…

赤坂台に、

わが故郷が

根づいてきた。

(4) 「赤坂台、わが故郷」を実感する時がきた。51年前、山を開き、泉北ニュータウンが誕生。新しい生活を夢みて大勢の人々が、赤坂台へ移り住み、

交通・公共・学校・医療・商業など新しい施設も続々と…。家族も増え活気溢れる街が出来上がった。この時点ではまだ「故郷意識」は芽生えない。それは

たちの中にはすでに「わが故郷意識」は根づいてきている。人も街も建物も経年化していくが、好天日に赤坂台をゆ

に美しく整然と落ち着いたふるさと表情を見せてくれる。「ああ、ここがわが故郷か」と。ちなみに

故郷イメージとは…

(1000人に聞いてみた)

●ふとした時に

帰りたいくなる

場所●家族や

友達の思い出が詰まった場所

●懐かし

く安心する場所

●益と正月

とお祭り

に帰る場所

所：●お年寄り

から子どもまでコミュニティ活動

イ活動

かん。

赤坂台は、自治

会加入率が80%近くあり南区では「3位」、夏の一大

イベント「赤坂台ふるさと祭り」ははじめ様々な「コミュニ

ティ

イ活動(防災対策に有効)が

組まれている。地域会館はい

つも予約でいっぱい。お年寄

りから子どもまで、面白い行

事やイベントが自白押し。楽

しい場所へ出ていこう、もっ

と遊ぼう、繋がろう。

赤坂台をいつも守り、支える人たちがいる。

●ボランティアを続ける人

●街の安全・安心考え人

●自治会活動を支えてくれる人●毎日、子どもたちを見守る人●困ったとき相談できる人●赤坂台を楽しくする人●お年寄りの健康を考える人●公園や緑道を守り続ける人●一年中、花を咲かせ

る人…。赤坂台にはさまざま

な場面で「人」を「街」を守

り支え続ける人たちがいま

す。ありがとうございます。

「みんなの、わが故郷」。この

共有意識が根っこにある限

り、安心安全な街づくりは続

けていきます。4月からの新

年度もわが故郷へのご協力

よろしくお願い致します。



わが故郷。

慣れ、

心の中に

様々な風景

や思い出が積

み重なって生まれてくるも

の。50年を経た赤坂台の人

つくり散歩すれば解る。50年の様々な思いが堆積した赤坂台は、実